

火おこし

概 要	古代の「火おこし体験」である。 授業の単元としては、理科の「仕事」や「熱」等で扱うことができ、社会科、歴史の教材としても優れている。	
ねらいとして 考えられること	①グループで協力することにより、親睦を図るとともに、人間関係を深める。 ②火をおこす原理を学習し、教養を高める。	
対象学年	小学校中学年から	
人 数	50名まで	
場 所	屋外	
時 間	30分～1時間	
指 導 員	全指導	
活動時期	通年	
経 費	なし	
事前に準備するもの	なし	
引率者の 役割	活動前	①指導員と所要時間と指導内容を確認する。 ②トイレに行かせる。 ③5分前までに所定場所に整列させ、人員点呼する。 ④活動内容や注意事項を知らせる。 ⑤活動場所へ移動する。
	活動中	・協力して活動できているか観察する。 ・ヤケドに注意させる。
	活動後	①所定の場所に整列させ、人員確認する。 ②貸出用具を回収する。 ③ふりかえりをする。
安全上の留意点	火種がついたほくちを直接手で触らせない。	
その他		